



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第16巻4号

(季刊誌)

2014年10月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>

多焦点眼内レンズ

プレミアムレンズ 《老視矯正眼内レンズ》

白内障のある方には、現在、次のような眼内レンズを使用して治療を行っています。通常の「単焦点眼内レンズ」が「**多焦点(2重焦点)眼内レンズ**」：近くにも遠くにもピントが合う2重焦点(遠近両用)の眼内レンズです。「先進医療」として厚生労働省に承認されています。さらに「**多焦点(3重焦点)眼内レンズ**」：遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う3重焦点眼内レンズです。日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておりませんので術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)3重焦点眼内レンズに関わる治療代は全て「自費診療」となります。上記いずれかを選択していただく事ができます。

★アドオン(Add-On)追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方に更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておりませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

フェムトセカンドレーザー 《白内障手術》

世界最先端の「**フェムトセカンドレーザー白内障手術**」を白内障のある方に導入しています。水晶体囊の前面を真円に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にすることができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省に承認されておりませんので「自費診療」となります。

詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

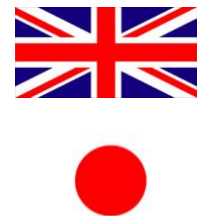
オルソケラトロジー

近視をコンタクトレンズで矯正する方法

ナイトレンズ(コンタクトレンズ)を就寝中に装用し角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。現在「キャンペーン価格」で試していただけます。

詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

ESCRS(ヨーロッパ白内障・屈折矯正手術学会)



年に1度、世界各国から多くの眼科専門医(7000人以上)がヨーロッパに集まり、世界最新の眼科治療・眼科技術を公開発表し、検討論議される「ヨーロッパ白内障・屈折矯正手術学会(ESCRS)」が2014年9月中旬イギリス・ロンドンで数日間に渡り開催されました。

本年も、西 起史(院長)・西 佳代(副院長)・西 悠太郎先生が出席。

西 悠太郎先生は学術発表を3講演行い「Femto cataract II Evaluation of efficacy and complications of femto cataract surgery in Japanese eyes」ポスタープレゼンテーション「Cataract Surgery Special Cases」「Classic capsular bending ring insertion prevented long-term clinically significant posterior capsule opacification in Japanese eyes」多くの討論が行われました。

西 院長は、例年同様、学術ビデオ「Video Competition 授賞式」の審査員として登壇2014年受賞者(Winners)の発表と受賞者へのコメントを行いました。



西 悠太郎先生の講演風景